

直方市学校規模適正化基本計画検討委員会（第3回）会議録（要点筆記）

○開会及び閉会に関する事項

・開催日時

令和7年5月21日（水）

開会 16時00分 閉会 18時20分

・開催場所

直方市役所 5階 503・504会議室

○出席委員

日高委員、下元委員、大塚委員、松莊委員、矢野委員、
池田委員、金本委員、上川委員、岸田委員

○事務局

宇山部長、石橋課長、青山係長、田代
林課長、岩尾課長、舩越課長、芦原課長、高松課長

○配布した資料

- ③(表紙)第三回表紙直方市学校規模適正化基本計画検討委員会
- ③-00 会議次第
- ③-01 検討委員会への諮問内容、検討事項についての確認時
- ③-02 「基本計画」のイメージ
- ③-03 学校規模によるメリット・デメリット
- ③-04 直方市の財政状況について
- ③-05 公共施設総合管理計画
- ③-06-0 学校を取り巻く現状について（～「令和の日本型学校教育」～）
- ③-06-1 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）【概要】
- ③-06-2 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）【総論解説】

○会議の記録

1.開会

4月の人事異動に伴う事務局体制の変更につき、説明。

委員9人の出席があることから、会議が成立していることを確認。

2.議事

(1) 確認

- ・検討委員会への諮問内容、検討事項について（③-01）
- ・「基本計画」のイメージ（③-02）

資料を基に、事務局より説明。諮問内容、検討事項についての説明を行い、「基

本計画」のイメージを共有した。「基本計画」の案は現時点では存在しないこと、「基本計画」は答申や市長からの意見、パブリックコメント等を参考に教育委員会にて決定することを再確認し、答申内容をどのように「基本計画」に反映させたいと考えているかについて、説明した。

【質問及び意見】

- ・市民からの意見の受け皿を準備してほしい。

- ・「直方市の目指す学校規模」というのは、「基本指針」では書かれていない。「基本指針」で書かれていない内容をこの検討委員会で協議するのか？

⇒（事務局）この検討委員会で、「直方市の目指す学校規模」について協議し、答申をしていただきたい。決定するのは教育委員会であるが、意見をいただきたい。

- ・学校規模適正化にかかる取り組みは、過去にもあった。過去にどういったことがあったか、整理及び説明が必要ではないか。

⇒（事務局）過去の取り組みについて、概略を説明。過去の反省を踏まえ、抜本的な見直しをとの考えのもとに取り組んでいることを説明。

- ・子どもたちのために、様々な意見を出していくことを確認。

(2) 協議

○第二回事務局説明に関すること

- ・直方市立学校施設の現状について
- ・直方市立学校施設に係る財政状況について

【委員意見】

- ・市内においての学校間の違いについて。人数の多い学校では教室不足が生じている等、少ない学校の格差は大きいと感じる。施設の面では、熱中症対策のためのエアコン整備や、不審者対策等、課題は多くある。

- ・学校施設の一覧表につき、現在の状況に合わせた更新が可能であれば、更新して示してほしい。

- ・規模適正化といっても、統廃合ということではないのか。それなりの青写真を描いて検討をした方が良いのではないか。

⇒直方市では、統廃合ありきでやっていない。「統廃合」＝「良いこと」とは言い切れない。「規模適正化」と「統廃合」はイコールではない、ということを共通認識として持った上で検討を進めていきたい。

- ・現時点でまだ議論をしていない部分（学校を取り巻く現状、通学区域状況、地域状況等）についての議論を今後していく必要がある。

- ・過去、検討を撤回した理由の1つに、地元の反対があった、ということがあった。実際に進めていく上では、教育委員会が地域住民の方に説明をする必要がある。学校と地域の関係、通学区域の状況、避難所としての利用状況等、多面的な実態把

握のために、多方面からの意見を吸い上げる必要がある。

- ・大きな学校は問題があるという意見を聞いた。分散しようとしても、地域の関係で難しい部分があるのだろう、と思う。

- ・教室が足りなくて、広めの教室を2つに分けて使用しているという現状があるということを見た。規模適正化というと、小さな学校をどうするかという話が出がちであるが、大きな学校をどうするか、ということも考えていかないとけないと思う。

○直方市の目指す学校規模について

- ・学校規模ごとのメリット、デメリットについて（資料③-03）を用いて、事務局より説明。「直方市の目指す学校規模について」は、「基本計画」の柱の1つと考えている。小規模化・大規模化によるメリット・デメリットはそれぞれあり、一概にどちらが良いとは言い切れない。学校規模については、全国一律で決められているものではなく、地域の実態や実情等を考慮して決めることが求められている。様々な意見を参考に、教育委員会で決定したい旨を説明。

【委員意見】

- ・この検討委員会で決定するわけではないが、地域の実態等を確認しながら、慎重に、議論をしていきたい。

(3) 事務局説明

- ・直方市の財政状況について（資料③-04）を用いて、財政課長より説明
- ・直方市公共施設等総合管理計画について（資料③-05）を用いて、企画経営課長より説明

【説明に対する質問及び意見】

- ・市の財政状況が厳しいということが分かる説明だった。財政が厳しいから、規模適正化に取り組む、というストーリーになっているのか。

⇒（事務局）市の財政状況についての説明は、前回の会議での意見を踏まえたもの。こどもたちにしっかりとした教育を、という思いで取り組んでいるが、規模適正化の検討には、財政面も考えながら検討する必要があると考えている。

- ・近隣の市では、新しく立派な学校を建てている学校がある。直方市との違いはどういったところにあるのか知りたい。

- ・直方市は財政再建団体になる可能性があるのか。

⇒（事務局）そうならないよう、いろいろな見直し等を行っていく必要がある。

- ・公共施設の目標削減率 30 パーセント、というのはどういうことか？

⇒（事務局）公共施設等総合管理計画というのは、市全体の公共施設でどれだけ費用がかかるのか、どれだけ財源が不足するのか、市全体でどれくらい削減していか

ないといけないのか、を示したもの。個別にどの施設を何パーセント削減するか、という細かい設定はしていない。市全体として 30 パーセントの削減をしないといけないという一定の目標である。

・学校を取り巻く現状について（～「令和の日本型学校教育」～）（資料③-06）を用いて、事務局より説明。会長より、補足説明あり。

【説明に対する意見】

- ・コミュニティスクールを含め学校と地域の連携をどのように考えるか、検討が必要。
- ・地域学校協働活動、コミュニティスクール等の現状と課題の整理が必要。
- ・特別支援教育についての現状把握が必要。

※次回の検討事項について

- ・「直方市の目指す学校規模について」の継続検討
- ・通学区域に関することについて、事務局からの説明を求める。
- ・地域と学校の連携について、事務局からの説明を求める。

3.日程調整

第4回目の開催につき、令和7年6月27日（金）16時から、と決定。

4.閉会